

2012年3月期決算説明会

2012年5月24日

電気興業株式会社

目次

1. 決算ハイライト

2. 単体セグメントの状況

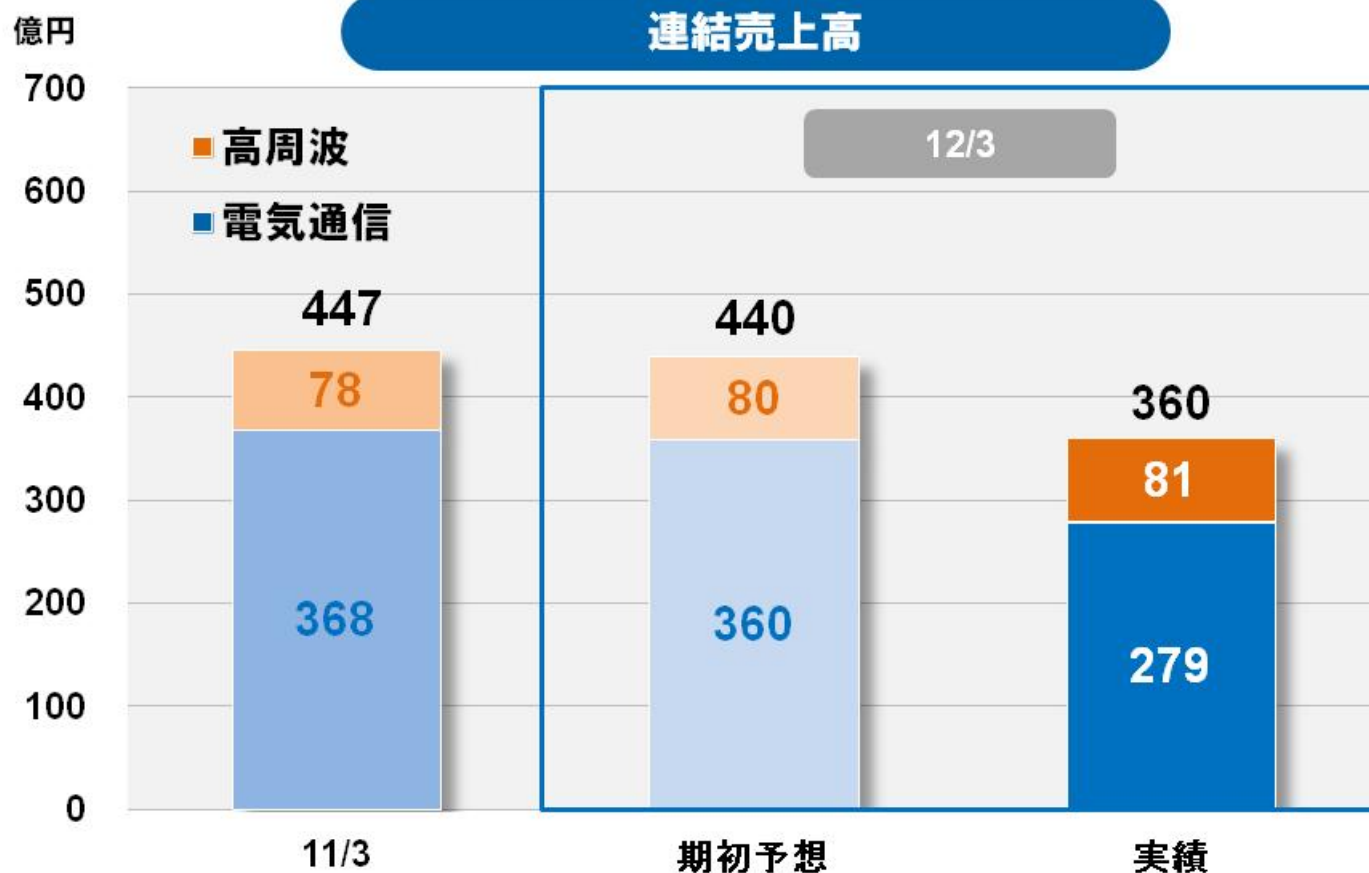
3. 今期業績の見通し

4. トピックス

決算ハイライト

連結売上高

- 連結売上高は19.3%の減収
- 高周波部門は増収を確保したものの、デジタル放送関連需要が前期で終了したこと等により電気通信部門が2割強の減収



連結売上高
360億円

前期比
86億円減収
(19.3%減)

電気通信
279億円

前期比
89億円減収
(24.3%減)

高周波
81億円

前期比
3億円増収
(4.3%増)

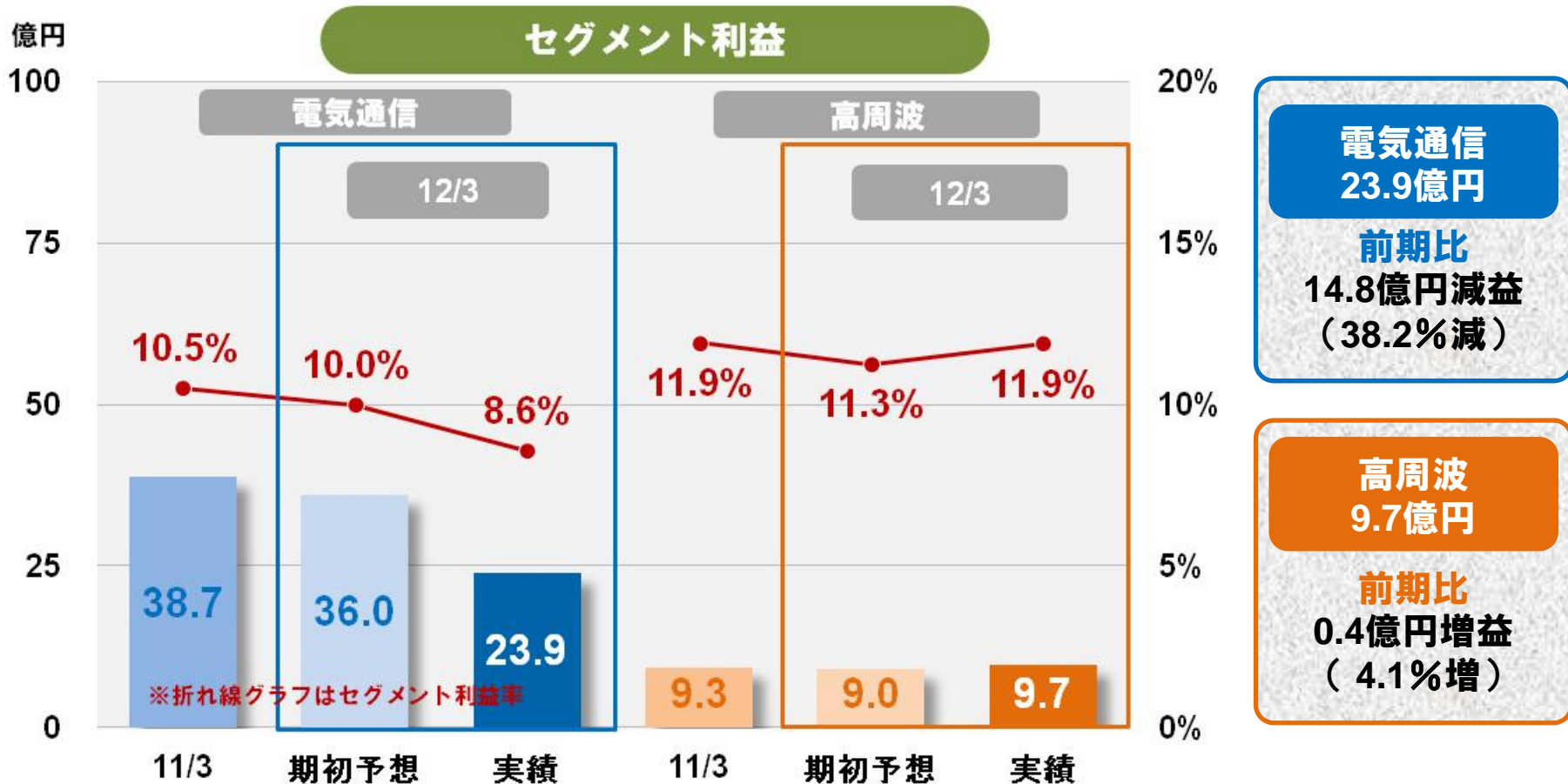
連結営業利益

- 電気通信部門の減収に伴って、営業利益は前期比46.6%の減益
- 販管費を1割削減したものの、営業利益率は前期比2ポイント弱低下



セグメント利益【連結】

- 電気通信のセグメント利益は、38.2%減益の23.9億円
- 高周波は4.1%増益の9.7億円



12/3期連結業績の概況

■通期損益計算書【連結】

(単位：百万円)

	11/3 実績	12/3		前期比		期初予想比	
		期初予想	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	44,667	44,000	36,038	-8,628	-19.3%	-7,961	-18.1%
売上原価	36,723	-	29,840	-6,883	-18.7%	-	-
売上総利益	7,943	-	6,198	-1,745	-22.0%	-	-
販売費及び一般管理費	5,389	-	4,833	-556	-10.3%	-	-
営業利益	2,553	2,300	1,364	-1,188	-46.6%	-935	-40.7%
売上高営業利益率	5.7%	5.2%	3.8%	-	-	-	-
経常利益	2,793	2,500	1,550	-1,243	-44.5%	-949	-38.0%
売上高経常利益率	6.3%	5.7%	4.3%	-	-	-	-
当期純利益	1,130	1,300	1,869	739	65.4%	569	43.8%
ROE	3.1%	3.6%	5.1%	-	-	-	-

単体セグメントの状況

移動通信売上高【単体】

- 上期は震災対策、下期は通信障害対策へ設備投資資金がシフトしたためアンテナ需要が低迷
- また、既存基地局のLTE化が進められたことから、基地局の新設が少なく鉄塔・工事需要も減少
- 今期は1.5GHz帯LTEサービス開始が予定されており、アンテナ需要の回復を想定



12/3期実績
102億円

前期比
24.5億円減収
(19.3%減)

13/3期予想
115億円

前期比
12.6億円増収
(12.4%増)

放送売上高【単体】

- デジタル関連需要が終了したことから、12/3期は新たに東京スカイツリーやマルチメディア放送関連の需要を積み上げて75億円の売上高を確保
- 今期は東京スカイツリー関連需要がなくなることから58億円を予想



12/3期実績
75億円

前期比
50.5億円減収
(40.1%減)

13/3期予想
58億円

前期比
17.4億円減収
(23.1%減)

高周波売上高【単体】

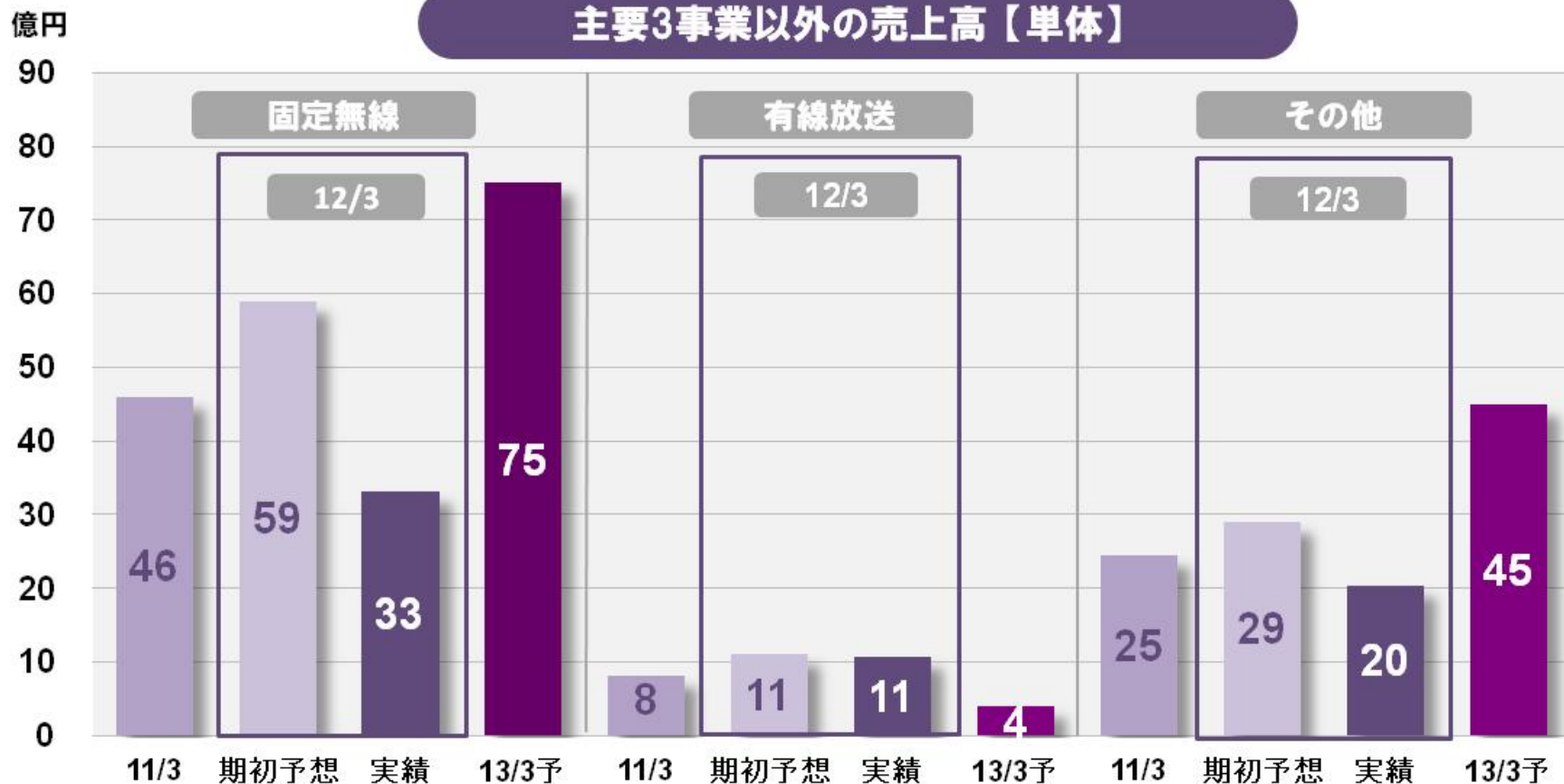
- 震災の影響により1Qまでは厳しい受注環境であったが、夏場以降盛り返し6.3%増収
- 今期は、日系自動車メーカーの増産に伴い底堅い需要が見込まれ、1.6%増収の見通し



主要3事業以外のセグメント【単体】

- 固定無線の前期は、震災の影響により当初想定していた官公庁案件が流れ、期初予想を大幅未達となったが、今期は官公需・消防救急デジタル化等の需要を積み上げ売上倍増を計画
- その他は再生可能エネルギー関連需要の取り込みにより今期大幅増収の見通し

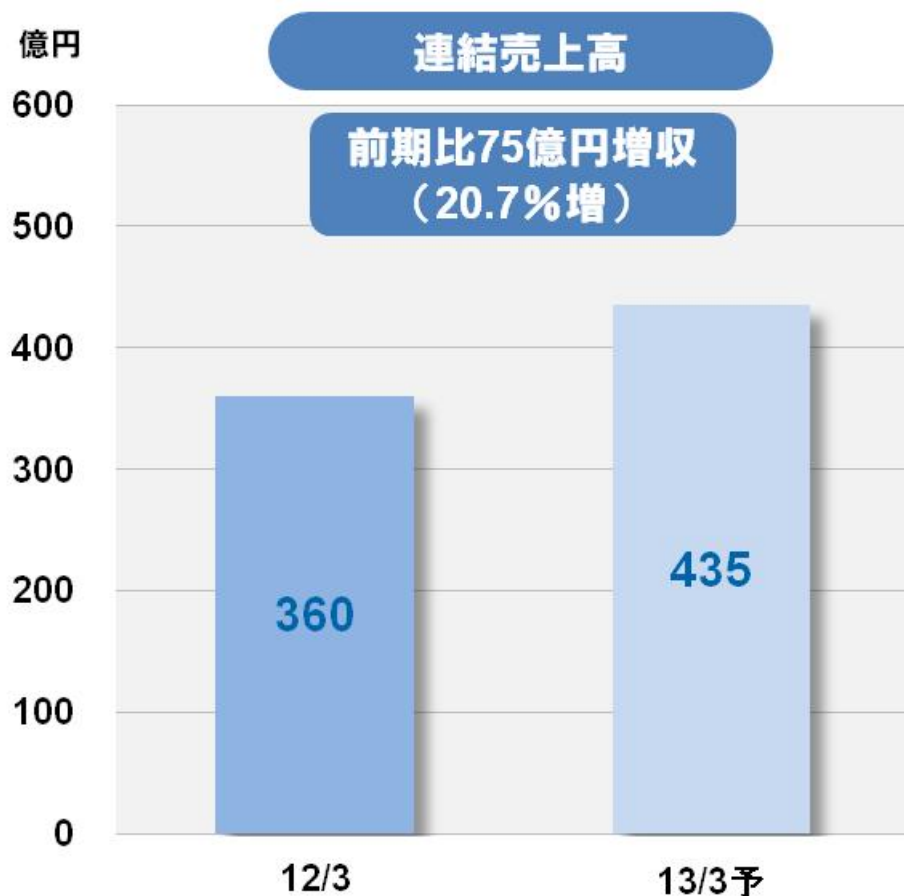
主要3事業以外の売上高【単体】



今期業績の見通し

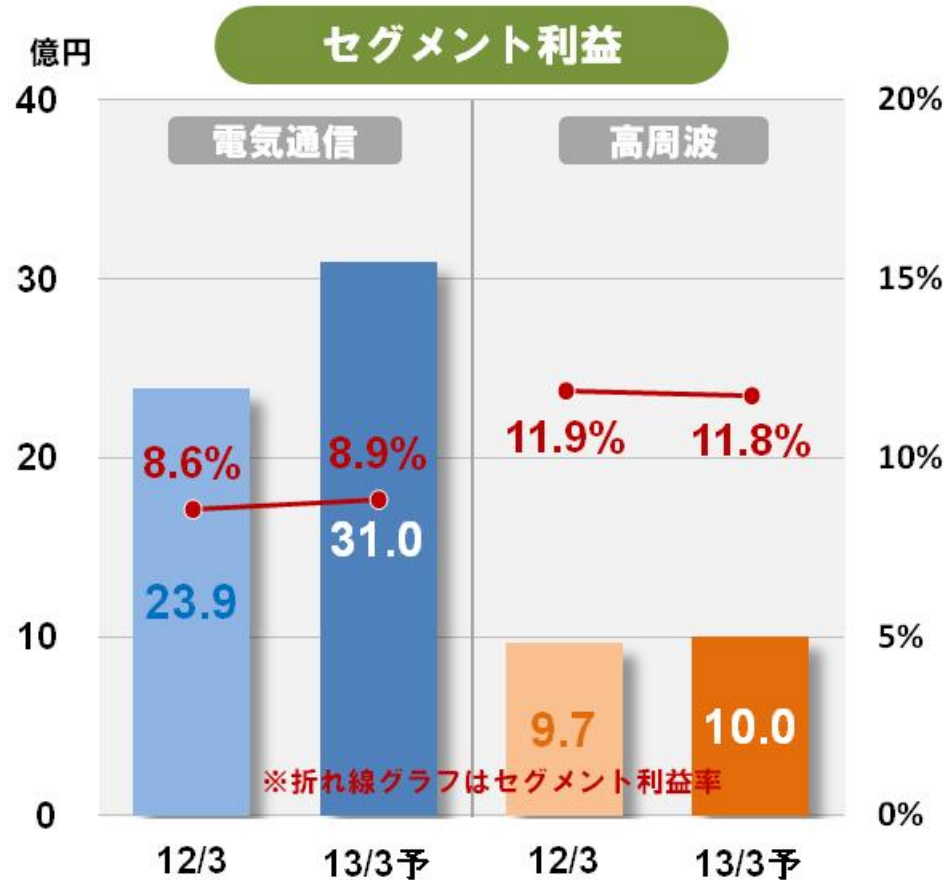
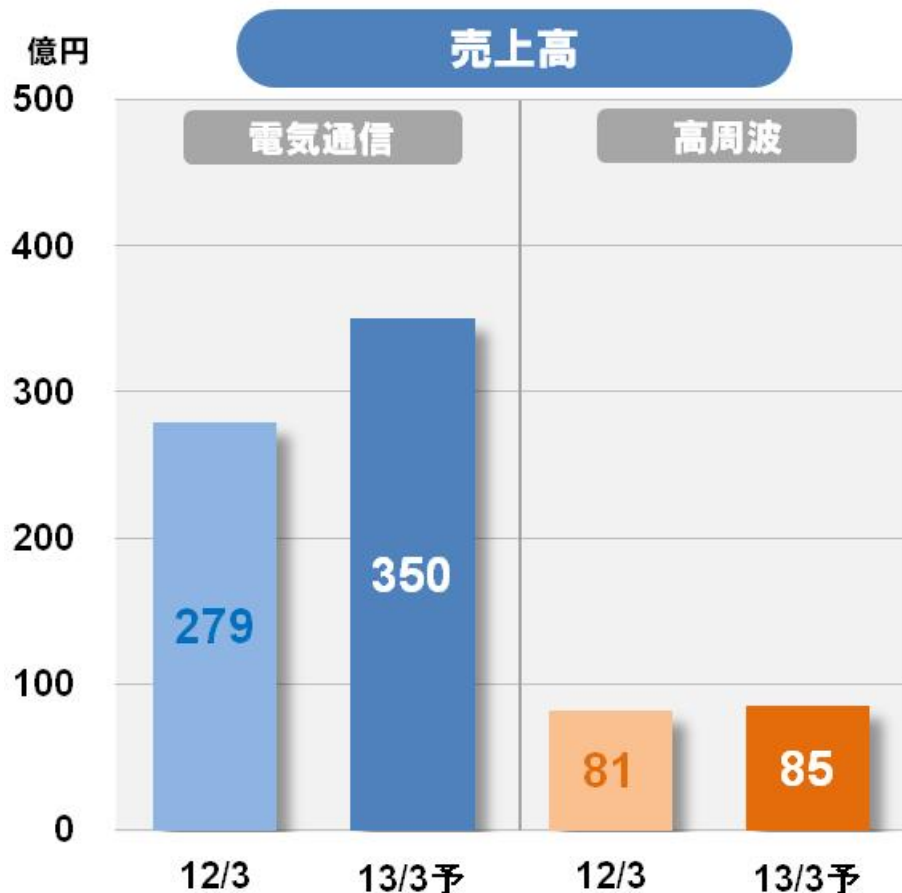
連結売上高・営業利益

- 連結売上高は固定無線の拡大や移動通信の回復により前期比20.7%の増収となる見通し
- 連結営業利益は61.2%増の22億円を予想



セグメント業績【連結】

- セグメント別売上高は、電気通信が25.4%の増収、高周波は4.5%の増収見通し
- セグメント利益は、電気通信が29.6%増益、高周波は3.4%増益の見通し



13/3期連結業績見通しの概況

(単位：百万円)

	12/3 実績	13/3 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	36,038	43,500	7,461	20.7%
電気通信	27,900	35,000	7,099	25.4%
高周波	8,134	8,500	365	4.5%
営業利益	1,364	2,200	835	61.2%
売上高営業利益率	3.8%	5.1%	-	-
電気通信	2,392	3,100	707	29.6%
売上高営業利益率	8.6%	8.9%	-	-
高周波	967	1,000	32	3.4%
売上高営業利益率	11.9%	11.8%	-	-
一般管理費他	-1,994	-1,900	94	-4.8%
経常利益	1,550	2,400	849	54.8%
売上高経常利益率	4.3%	5.5%	-	-
当期純利益	1,869	1,300	-569	-30.5%
ROE	5.1%	3.4%	-	-

(注1) その他セグメントの売上高は省略

株主還元

- 2月13日から3月5日にかけて120万株(4.8億円)の自己株式の取得を実施
- 前期の配当については、代行返上益を配当原資に含めず、年間配当の下限である5円を予定
- 今期は連結ベースでの配当性向40%を目途に7円の配当を予定

株主還元策の考え方

- 連結ベースでの配当性向40%を目途に配当
 - ーただし、当面1株当たり年間配当5円を下限として設定
- 株主還元策および資本効率の改善策として、自己株式の取得も選択肢として視野に入れ検討

前期(12/3期)の株主還元

- 2月13日～3月5日にかけて自己株式の取得を実施
 - ー発行済株式数の1.79%に相当する120万株、4.8億円の自己株式の取得を実施
- 配当に関しては、1株当たり年間配当5円を予定
 - ー厚生年金基金代行返上益は現金収入を伴わない会計上の利益であるため、配当原資としてカウントせず、年間配当の下限5円を適用

今期(13/3期)の株主還元

- 期末配当として1株当たり7円とする予定

トピックス

タイ子会社の新設

- 電気通信および高周波の両部門における海外拠点として、5月2日にタイ国アユタヤ県に子会社を設立

電気通信部門

● 背景

- 移動通信アンテナの市場縮小
- 国内市場において移動通信アンテナの価格競争激化

● 設立目的

- 通信用アンテナのタイでの生産による価格競争力の強化
- タイを中心とした海外市場への進出

高周波部門

● 背景

- 日系自動車産業を中心とした顧客の海外進出・現地調達化の進展に伴って、現地提供サービスの重要性が増大

● 設立目的

- 日系自動車関連メーカーに対するコイル修理等の現地提供サービスの拡充

DKK (THAILAND) Co., Ltd.

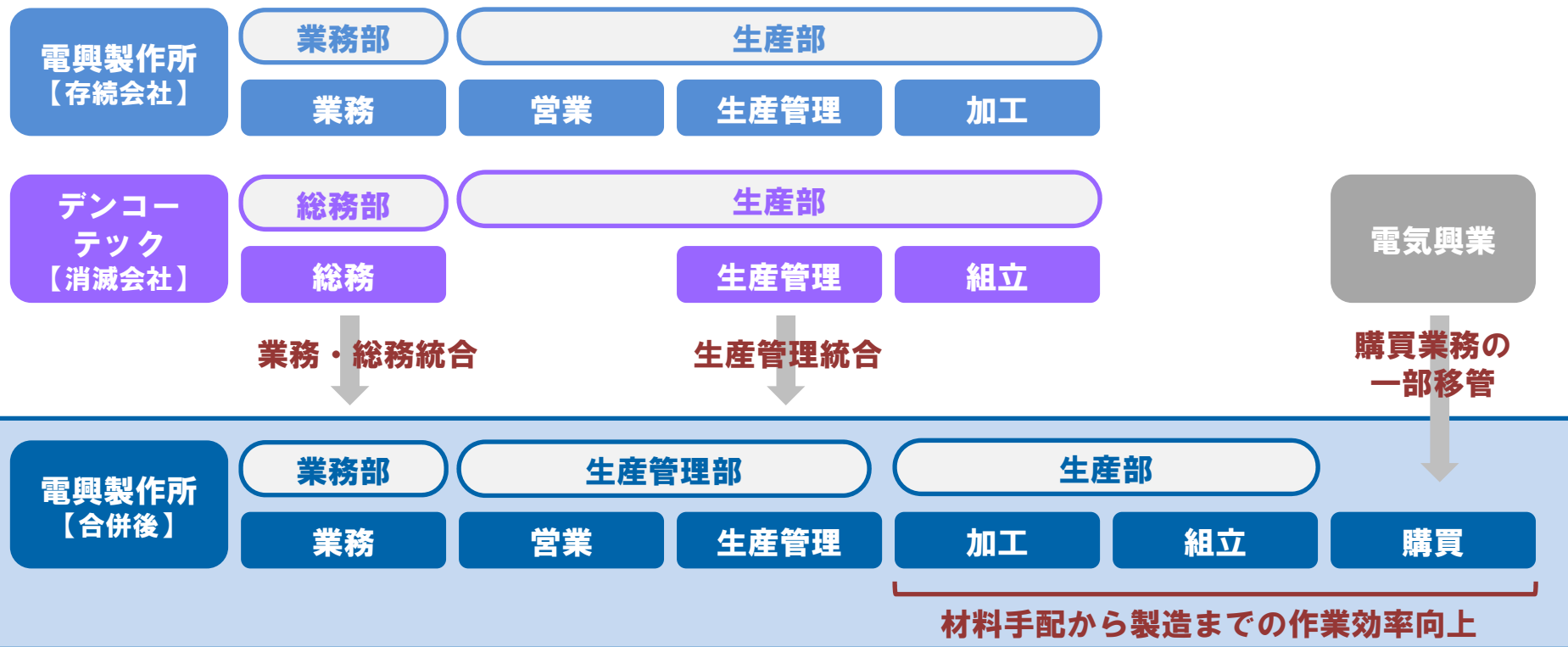


電気通信関連子会社の合併

■ 4月1日に電気通信部門のアンテナ部品加工子会社（電興製作所）とアンテナ組立子会社（デンコーテック）を合併

● 子会社合併の狙い

- － 間接業務（業務・総務、生産管理）の重複解消による人員の有効活用
- － 購買から加工・組立までの一貫体制による生産効率の向上とリードタイムの短縮
- － 加工・組立の両スキルを持つ人材の育成



mmbiへの出資

■ 昨年12月に株式会社mmbiがNTTドコモをはじめ17社に対して実施した第三者割当増資の一部を引受け、1%（約5億円）を出資

● 出資の背景

- 当社は、mmbiの子会社でありマルチメディア放送（モバキャス）のインフラ構築を手掛けるジャパン・モバイルキャストイングから放送設備の納品・設置工事を受注
- mmbiへの出資により関係強化を図ると共に、放送エリア整備の円滑化を図る



参考データ

単体売上高内訳

(単位：百万円)

	11/3 実績	12/3		前期比		期初予想比		13/3 予想	前期比	
		期初予想	実績	増減額	増減率	増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	38,863	37,000	30,259	-8,603	-22.1%	-6,740	-18.2%	35,800	5,540	18.3%
電気通信	33,129	31,600	24,184	-8,944	-27.0%	-7,415	-23.5%	29,700	5,515	22.8%
移動通信	12,686	13,700	10,235	-2,450	-19.3%	-3,464	-25.3%	11,500	1,264	12.4%
固定無線	4,601	5,900	3,322	-1,278	-27.8%	-2,577	-43.7%	7,500	4,177	125.8%
放送	12,588	8,000	7,537	-5,050	-40.1%	-462	-5.8%	5,800	-1,737	-23.1%
有線放送	802	1,100	1,061	259	32.3%	-38	-3.5%	400	-661	-62.3%
その他	2,451	2,900	2,027	-423	-17.3%	-872	-30.1%	4,500	2,472	121.9%
高周波	5,277	5,000	5,608	330	6.3%	608	12.2%	5,700	91	1.6%
その他	455	400	466	10	2.3%	66	16.5%	400	-66	-14.2%

業績予想に関する注意事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。